

2017年6月14日

各 位

会 社 名 日本信号株式会社
代表者名 代表取締役社長 塚本 英彦
(コード番号:6741 東証第一部)
問合せ先 総務部長 広瀬 実
(TEL 代表 03-3217-7200)

当社第134回定時株主総会の第3号議案に関する
ISS レポートの事実誤認とそれに対する当社の見解について

本年6月23日に開催予定の当社第134回定時株主総会（以下、「本定時株主総会」）において、議決権行使助言会社 Institutional Shareholder Services, Inc.（以下、「ISS」）は、第3号議案で当社が補欠監査役として選任をお願いしている龍野 廣道氏に対して、反対推奨を行っております。

当社は、ISSの推奨内容を確認いたしましたが、その主張には重大な事実誤認が含まれていると判断しております。

そこで、株主の皆様正しい情報を提供させて頂くと共に、改めて当該議案へのご理解を賜りたくお願いする次第です。

記

1. ISSの主張について

ISSは、補欠監査役候補者の龍野氏について、ISSの定める独立性基準を満たしていないとして反対を推奨しております。その理由として、龍野氏の所属組織が、当社の取引先かつ株主である、みずほフィナンシャルグループであることを挙げております。

2. 当社の見解について

当社は龍野氏が、当社の基準に照らして十分な独立性を有すると共に、ISSの独立性をも満たす候補者であると考えております。

龍野氏は、1971年に後のみずほフィナンシャルグループとなる日本興業銀行に入行され、日本興業銀行を退行された後、現任である株式会社タツノに入社されています。日本興業銀行に勤務されていたのは数年で、退行されてからすでに30年以上経過しております。過去の雇用者との間の利益相反を解消するのに十分な期間を経過していると考えており、独立性が疑われる要素はございません。

また、昨年も同議案を提出しておりますが、ISSには賛成いただいております。

なお、ISSは、2016年提出の独立役員届出書を参考に以上の助言をされていますが、2016年の独立役員届出書には、龍野氏を届出ておりません。従って、ISSの反対推奨は事実誤認に基づいたものと考えております。

機関投資家の皆様におかれましては、スチュワードシップコードの的確な運用、受託者責任の履行の観点から、慎重な議決権行使判断を行っていただきますようお願い申し上げます。

以 上